

<今年度2回目の全校授業研究会を行いました>

校長 佐藤 幹彦



9月13日（水）に、全教職員で2年4組の国語の授業（教科担任 澤井）を参観し、授業研究会を行いました。



今回の全校研究会の目的は、①本校の研究主題である「自ら考える生徒の育成～「生徒が主役」となり、学びを深める授業づくりを通して～」について、現在の実践状況等と各教科で目指す姿を明らかにすること、②11月22日（火）に開催予定の「ジャンプアップ公表会（本校の研究発表会）」で目指す授業について、本時の良さや課題から自分の授業を見直すということです。



2年4組の生徒たちは、温かい学級の雰囲気の中、課題について、個人または小集団で意見交流しながら一生懸命考え、自分の考えを意欲的に発表するなど、とても良い姿が見られました。

当日は、岐阜教育事務所の国語担当 一川指導主事様にお越しいただき、国語の授業としての良さや課題等について具体的にご指導いただきました。そして、「ジャンプアップ公表会」をイメージする中で、各教科であらためて磨きあげていくことを、全教職員で確認しました（以下は一例）。

「生徒が主役」…「生徒の声の大きさ・発表者としての意識」「ハンドサインの活用」「聞き方・反応」「姿勢・返事」等

「学びを深める」…「構造的な板書」「スムーズに小集団学習ができる学習集団づくり」「小集団活動・交流の仕方」「1時間でまとめ⇒発表まで終えるの時間配分・評価」「学びの深まりのある活動①⇒②の位置付け」等



